

Wish

世界の子どもたちのために

vol. **76**

2025年6月号



ユニセフのつどい

CONTENTS

EVENT REPORT

2-5 第23回 **ユニセフのつどい**

6-7 **活動ファイル**
2025年1月～5月

8 **お知らせ**



Data イベントデータ

日 時 2025 年 3 月 1 日 (土)
 会 場 コープこうべ生活文化センター (神戸市東灘区)
 参加者 200 人
 後 援 兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会(公財) 兵庫県国際交流協会、
 JICA 関西、(一社) 兵庫県子ども会連合会、コープこうべ、神戸市教職員組合
 協 賛 神戸YMCA、神戸YWCA

プログラム

■ワールドマーケット

■平和の歌

おーまきちまきさん (シンガーソング
 ライター、アコーディオン弾き)

■講演

「世界に飛び出したボクが伝えたいこと」
 ～全ての子どもや大人が自分らしく
 学んで生きていくために～
 講師 岡本啓史さん
 (元ユニセフ教育専門官)

■ユニセフスタディツアー報告 (東ティモール)

市橋純子さん (コープこうべ理事)

■募金贈呈式

■参加団体の紹介

■人形劇『西区竹取物語』

兵庫県立伊川谷高等学校 (現県立神
 戸学園都市高等学校) ボランティア部

■みんなで踊ろう!ネパールダンス セワ・スクール

特集 EVENT REPORT

第23回

ユニセフ のつどい

Unicef Festival

世界のももたちと
 心をつなごう

ユニセフのつどいは
 世界のももたちに
 思いを寄せる人たちが集う
 兵庫県ユニセフ協会のお祭りです。
 今年のサブテーマは
 「教育と平和で子どもたちに
 明るい未来を！」
 新しい一歩を踏み出すきっかけとなる
 ささまざまな出会いと交流がありました。
 笑顔と活気にあふれた
 一日の様子をお伝えします。



募金贈呈式

兵庫県立伊川谷高等学校、神戸市立鷹取中学校、コープこうべ、コープ
 こうべユニオンの皆さんから、国際社会へ貢献したいという思いのこもった
 募金を当協会会長 黒木稔が代表して受け取り、感謝のこたえを伝えました。

2024 年度に兵庫県ユニセフ協会に寄せられた募金総額は 30,583,680 円に
 上りました。外国コインでもご協力いただきました。ありがとうございました。



LECTURE 講演



ひろし

岡本 啓史さん

元 UNICEF 教育専門官。海外で多様な職業に就き、2024年7月帰国。ライフスキル教育、講演活動、グローバル学び舎運営など、国内外で多岐にわたって国際理解・幅広い学びやウェルビーイングの促進に注力中。

Q 中学校時代の嫌な経験をどのように乗り越えられましたか。

A 中学生時代、人間関係で陸上部を辞めたことで肩の荷が降り、新鮮さと楽しさを感じながら走る喜びを発見し、自分のペースを大切にすることを学びました。新しいことに挑戦する、やってみることで自分に合ったものが見つかることを実感しました。

Q さまざまな経験をされていますが、どのように人となつながら、巻き込んでゆくのでしょうか。

A 巻き込むためには、自分の目標を明確にすることが大切です。私の場合は異分野へ飛び込むことが多かったのですが、その道のプロを探して学びを得て、つながりを広げることが次の道を開く鍵になりました。例えば、国際機関で働きたいと思い、日本人国連職員のブログを読み込み、質問をまとめて丁寧に連絡した結果、道が広がりました。情報収集や相談を重ねながら、自分が何をしたいかを明確にし、決断することが重要です。

Q これからの目標をお聞かせください。

A 世界に飛び出したからこそ、時代が必要としているもの、自分の活動の方向性が見えてきたように思います。「ダメ、こうあるべき」に縛られず「ええやん」と思える自由な環境、感情のコントロールや自己認識と言った非認知スキル、時代にあった教育システムの必要性を感じています。世界と日本を行き来しながら子どもたちが生きやすくなるサポートをしていきたいと考えています。

Q & A

岡本さん、おしえて！

世界に飛び出たボクが伝えたいこと
全ての子どもや大人が自分らしく学んで生きていくために

岡本さんは学校での嫌な体験から学びとは何だと考えるようになりました。今回は、自身の気づきに基づいて歩んできた経験から、自分らしく生きていくことについてお話しいただきました。インタビューではさらに深く話をお聞きしました。

岡本さんは、中学2年生まで運動も勉強も嫌いでしたが、いろいろなきっかけがあって、大学時代には5つの教員免許を取得し、ダンサーとしての経験も積み、その後「良い教育者は良いパフォーマンス」と考え、ニューヨークに渡り演劇を学びました。また、レストランで働きながら料理人となり、そこで出会った不法移民の人々の背景を知り、国際支援の道に進む決意をしました。国

連機関、ユニセフ、国際NGOなどで勤務し、5大陸45か国以上で教育支援を行い、多くの気づきと学びを得ました。ユニセフで教育専門官として赴任したモリタニアは最貧国でありながら隣国マリからの難民を受け入れていました。難民キャンプにはさまざまな機関からの支援がある一方で、難民キャンプがで

きる以前からあったホストコミュニティには何の支援も無く、その大きな格差から不公平感が充満していましたが、現在では両者ともに支援する流れが徐々に生まれています。難民キャンプとホストコミュニティの共通の課題は、自分たちの思いを表現する場所がないことでした。岡本さんは音楽やダンス、絵画などの自己表現プログラムを導入し、現地パートナーと共同でダンス講師も務めました。特に印象的だったのは、モ

リタニアでは障害のある子どもは人前に出ない風習がありました。が、片足の子どもがダンスの音楽を聞きつけて参加し、皆に受け入れられ「家でも外でも踊りたい」と話した時でした。自分で考え、好きなこと、やりたいことを実践することで世界が広がっていくのです。岡本さんは、自分らしく学んで生きていくためには行動力もスキルの一つと言います。好きなことやりたいことをして、一歩ずつ自分らしく進んでいきましょうと結びました。

認定 NPO 法人
Future Code BYCS



世界の災害・貧困地域で医療支援や国際協力を行っている Future Code。学生部 BYCS ではブルキナファソの女性支援を行っています。

NPO 法人ルワンダの
教育を考える会



「教育は平和と発展の鍵」をモットーに、民族や宗教政治思想を越えて学ぶ意欲のある子どもに教育の機会を与える活動をしています。

アジア女性自立
プロジェクト (AWEP)



アジアの女性たちが人生に尊厳を持ち主体的に生きることのできる社会をめざしてフェアトレードや日本在住外国人女性を支援しています。

兵庫県立伊川谷高等
学校ボランティア部



地域の子どもたちに人形劇でSDGsを伝える活動をしています。今回は人形劇や手作りの竹を使ったおもちゃで放置竹林問題を提起しました。



PUPPET SHOW

人形劇『西区竹取物語』

兵庫県立伊川谷高等学校ボランティア部

神戸市西区の放置竹林問題を子どもたちも一緒に考えられるようにした人形劇。ホールの大画面スクリーンを背景に使い、手作りの舞台と人形で上演されました。主人公のユウキ君とおじいさんと一緒にタケノコを取りに竹林に行き、不思議な人に出会います。途中でクイズもあって竹のことを楽しく学ぶことができました。この校名での活動は県立高校再編のため今回が最後になりました。



平和の歌

おーまきちまきさん

シンガーソングライター、アコーディオン弾きで引きこもりの子どもたちの支援もしているおーまきさんの力強く透明感のある歌声が会場に広がりました。参加者も一緒に歌い、会場は平和への想いで包まれました。

SONGS



か はし
架け箸



中東パレスチナ×日本のかわいいを届ける店。共に同時代を生きる人々との接点を大切に、フェアトレードの雑貨を販売しています。

石光商事（株）



「世界の食の幸せに貢献します」がモットーの食品専門商社。淹れ立てのコーヒーがウエルカムドリンクとして参加者に無料で振る舞われました。

兵庫県ユニセフ協会



「子どもにやさしい空間」をイメージした広場を作り、折り紙、絵本、すごろくなどで遊んだり、*ハト風船にメッセージを書いたりしました。



*ハト風船 3月11日に宮城県名取市岡上で行われる「追悼のつどい」で、伝えたい想いを書いて飛ばされるハト型の風船

BOOTH

出展団体紹介

NPO 法人 ミャンマー KOBE



ミャンマーではボランティア、僧院系運営の学校・孤児院支援をし、国内では災害・就労支援、写真展などを開催しています。

Global Learning Center 3L (ミエル)



Learn (学ぶ)、Live (生きる)、Love (愛する) という3つのLをグローバルな視点から育てる学び舎。平和で生きやすい世の中をめざしています。

(一社) 神戸 YJB



「神戸ヤングじじばばの会」。バルーン、クラフトなど遊びの体験活動で子どもたちと交流。毎年1回のフォーラムなども実施しています。

みんなで踊ろう! ネパールダンス

セワ・スクール

在住ネパール人のみなさんがきらびやかな民族衣装に身を包み華麗なネパールダンスを披露。最後はネパールのお祭りの時のようにみんな一緒に陽気な音楽に合わせて踊り、会場は笑顔の花でいっぱいになりました。



MARCHE



ワールドマーケット

オープニングはブースを巡っての交流タイム。国内外で支援活動をしている団体が支援商品や活動の様子を紹介。参加者は色とりどりの雑貨やコーヒー、紅茶などを手に取りながら買い物をしたり、竹のおもちゃやバルーンアートなども楽しんで、笑顔とともに話もはずみました。

DANCE

NGO ネパール虹の家



2015年のネパール大地震被災地の子どもたちのチカラになりたい、子どもたちを笑顔にサポートに、女性支援、教育支援を行っています。

せいぼじゃぱん



マラウイの学校給食支援や、日本の提携校とつないだ探求活動、課外活動も実施。同国産フェアトレードコーヒーの販売事業もしています。

バオバブ



就労継続支援B型事業所。アフリカ布を使った雑貨の製造・販売や手軽で身体にいいスパイスカレーキットを製造・販売しています。

チームやんだくない



「いやではないよ」という思いをチーム名にし、2013年から東日本大震災の被災地を支援。被災地の生産品の販売と共に現状も伝えています。

2

ユニセフパネル展

子どもにやさしい空間

～阪神・淡路大震災から東日本大震災、そして未来へ

日 時 2025年1月12日(日)～19日(日)

会 場 こうべまちづくり会館 4 階(神戸市中央区)



阪神・淡路大震災から30年の今年、今こそ神戸から伝えられることを発信し、これからのまちや防災を考えるこうべあいウィークにパネル展示で参加しました。パネルは「子どもにやさしい空間」について兵庫県ユニセフ協会が作成したものです。

自然災害や武力紛争が起きると子どもたちの安心・安全な生活や、心身の健康的な発達、遊びや学びの機会などさまざまな「子どもの権利」が奪われます。そうした現場で避難している子どもたちが安心して過ごすことのできる居場所を確保し、日常を提供するのが「子どもにやさしい空間」です。

ユニセフでは、世界各地において地域行政や他団体とも連携して「子どもにやさしい空間」を設置・運営しています。そこでは子どもの最善の利益を最優先し、すべての子どもたちが受け入れられること、遊び・教育・心理ケア・衛生などさまざまな支援を提供することなどが心がけられています。

ウクライナやガザなどでの活動は現在も続いています。日本においても東日本大震災緊急・復興支援として多くの「子どもにやさしい空間」が設置されました。その時の知識や経験を将来に生かす取り組みも行われています。

当協会では、コープこうべ主催の防災フェスタやユニセフのつどいに「子どもにやさしい空間」をイメージしたスペースを設置し、パネルも展示しました。また、パネルの貸し出しも行っています。

■日本の「子どもにやさしい空間」の事例



東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故により、福島市双葉町の避難所・役場として、埼玉県の閉校した旧駒西(きさい)高等学校が使われ、体育館には「子どもにやさしい空間」が設置された。

Activities File

活動ファイル



兵庫県ユニセフ協会の活動履歴

2025年1月～5月

活動一覧

Activities List

学習会一覧

(0) オンライン開催

月日	訪問先	対象	人数
1月 9日	茨木西コープ委員会	大人	4
1月20日	神戸市立本山中学校	1～3年生	234
1月31日	神戸市立淡河中学校	1～3年生	43
2月 6日	神戸学院大学附属中学校	2年生	72
5月 1日	マリスタブラザーズインターナショナルスクール(神戸市須磨区)	5年生	(0) 3

地域活動一覧

* ブース出展

月日	イベント名
1月12日～19日	ユニセフパネル展「子どもにやさしい空間～阪神淡路大震災から東日本大震災、そして未来へ」(神戸市中央区)
1月27日～2月11日	「パレスチナを知る写真展」(神戸市西区)
2月～3月	カレンダー募金
2月11日	2025国際理解講座①「フェアトレードでつながる中東パレスチナ そこにある日常との出会い」(神戸市西区)
2月15日	防災フェスタ(神戸市東灘区)
3月1日	第23回 ユニセフのつどい
4月26日	2025ユニセフセミナー①「子どもの権利と多様性「共に生きるということ」(神戸市中央区)
5月31日	2025ユニセフセミナー②「子どもの権利とジェンダー『ジェンダーギャップを考えるカルタ』で学ぶ世界のジェンダー×日本のジェンダー」(神戸市中央区)

募金一覧

2024年11月～2025年3月

学校・団体名
コープこうべ生活文化センター、コープ桜が丘組合員まつり&ジョイフルタウンまつり、憲法を生かす北区の会、いなみの学園いなみ野祭実行委員会、(株)甲南エステート、ボーイスカウト尼崎第14団、兵庫県立大学学生S&I club、五洋ロジテム(株)、五洋ロジテム労働組合、啓明学院中・高等学校、湊ハマ(株)、コープこうべユニオン、石光商事(株)、兵庫県立伊川谷高等学校ボランティア部、神戸市立鷹取中学校、生活協同組合コープこうべ、太子町立太田小学校、神戸市立西代中学校
ご協力ありがとうございました。(兵庫県ユニセフ協会関係分 敬称略、順不同)

1

カレンダー募金

日 時 2025年2～3月

文具専門店伊東屋から寄贈されたカレンダーを「カレンダー募金」として格安で提供し、ご協力いただいた49,391円はユニセフ募金にさせていただきました。

3 パレスチナを知る写真展

日 時 2025年1月27日(月)～2月11日(火・祝)
会 場 玉津のつどい場 たまろっと(神戸市西区)
協 力 架け箸、パレスチナとつながる写真展 PROJECT マクルーバ、コープこうべ第5地区本部

写真展では、スマートフォンで撮ったヨルダン川西岸地区やガザ地区の小さなサイズの写真が並び、親近感を醸し出していました。撮影者は、写真を通してパレスチナのことを伝えたいと集まった



人々のグループ「マクルーバ」の皆さん。マクルーバにはアラビア語でひっくり返すという意味もあります。今のパレスチナの状態をひっくり返したいという思いが込められていました。

4 2025 国際理解講座① フェアトレードでつながる中東パレスチナ そこにある日常との出会い



講 師 高橋智恵さん(ソーシャルブランド架け箸代表)
日 時 2025年2月11日(火・祝)
会 場 玉津のつどい場 たまろっと
参加者 35人
後 援 神戸市教育委員会、神戸市教職員組合、
コープこうべ第5地区本部

高橋さんは、学校の授業で「パレスチナ問題」を知り、長年解決されない国際問題に興味を持ち、大学で文化人類学を学びました。2018年にブルガリアへ交換留学をしていた際、パレスチナのヨルダン川西岸地区でホームステイを経験、親戚のように受け入れら

れました。滞在先は商店が立ち並ぶ賑やかな街にあり、週末には空気がおいしい郊外に出かけ、家族で大鍋を囲み食事や会話を楽しみ、家族の写真を撮って楽しむ。占領下でも家族と共に過ごす温かい日常を大切にしていました。一方で、政治活動をしていないにも関わらず自宅に軍が入ってきた経験談には驚かされました。

2020年、紛争などの先入観を取り除きパレスチナの文化を広めるためにフェアトレードの個人事業「架け箸」を立ち上げました。スローガンは「素敵に国境はない」。オリーブの木工品や刺繍などのヨルダン川西岸地区の地場産業品を扱い、最初の商品には「橋を架ける」という意味を込めて箸を選びました。

現在、ベツレヘムでオリーブ木工品を製造する団体や女性起業家と一緒に活動しています。しかしコロナ禍から回復しきれないうちに2023年パレスチナ・イスラエル戦争が起き、観光客が激減し工房の多くが休業状態です。

最後に、高橋さんは「SNSや図書を活用してパレスチナについて知るきっかけを持ってほしい」と呼び掛けました。



高橋智恵さん

兵庫県川西市生まれ。神戸大学国際文化学部卒業。大学在学中、東パレスチナにて1ヶ月のホームステイを経験。人柄と文化に惹かれ、パレスチナの地場産業を生かしたフェアトレードの店「架け箸」を個人事業として開業。

from Volunteers

あの日のウクライナ

2018年5月キーウとオデーサを観光で訪ねた。映画『戦艦パチョムキン』の舞台となったオデーサの階段は壮観で、周辺は緑豊かな公園とプロムナードが広がり紀元前8世紀の遺跡が展示されていた。古代から要衝の地であったと推測でき、重要な港湾都市であるだけでなく、パリを模した都市計画によりおしゃれな建築物と文化の香りが漂う街であった。この写真は、宮殿内部の装飾のようなモールで若者グループがウィンドーショッピングをしているのを撮った。

オデーサ港は輸出ルートの生命線であるがゆえに、今回真っ先にロシアに侵攻され封鎖されてしまった。あの若者たちは今どうしているのだろうか？ (写真・文 利根素子)



ショッピングモールオデーサ「リッサージュ」

ユニセフ募金 Donations For Unicef

■ 通常募金

通信欄記載事項	振替口座	手数料
K1-280 兵庫	00190-5-31000	免除

■ 緊急・復興募金

	通信欄記載事項	振替口座
ミャンマー地震	ミャンマー K1-280 兵庫	00190-5-31000
ガザ人道危機	ガザ K1-280 兵庫	00190-5-31000
ウクライナ	ウクライナ K1-280 兵庫	00190-5-31000
自然災害	自然災害 K1-280 兵庫	00190-5-31000
人道危機	人道危機 K1-280 兵庫	00190-5-31000
アフリカ栄養危機	アフリカ K1-280 兵庫	00190-5-31000
シリア	シリア K1-280 兵庫	00190-5-31000
ロヒンギャ難民	ロヒンギャ K1-280 兵庫	00190-5-31000

*共通口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会
*郵便局窓口から専用振込用紙を使って振り込むと手数料は免除されます。専用振込用紙は事務局にありますのでご連絡ください。



いつでも
どこでも
気軽に募金

<https://www.unicef.or.jp/sp/>

Wish ユニセフ兵庫ニュース vol.76

ユニセフ兵庫ニュース Wish

2025 年 6 月発行

発行：兵庫県ユニセフ協会

住所：〒658-0081

神戸市東灘区田中町 5-3-18

コープこうべ生活文化センター 2F

電話：078-435-1605 (平日 10:00 ~ 16:00)

FAX：078-451-9830

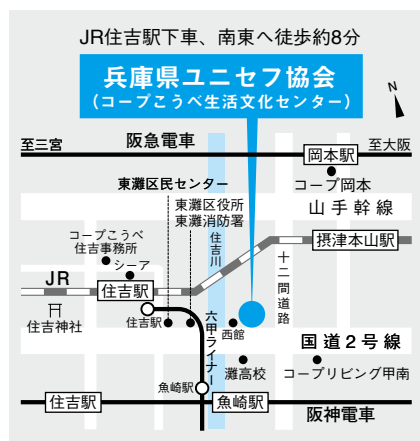
E-Mail：h-unicef@kobe.coop.or.jp

●最新の情報はホームページで

<https://unicef-hyogo.jp/>

兵庫 ユニセフ

検索



Join Us 主催イベント

各日程等は変更になることがあります。
詳細はホームページをご覧ください。

参加費
無料

2025 国際理解講座② 南米ベネズエラの危機 ～拘束された子どもたちと 子どもの権利～

日時 6月28日(土) 13:30 ~ 15:00

会場 神戸市教育会館

講師 ネルソン・イスキエルバさん

定員 80 人

後援 神戸市教育委員会、
神戸市教職員組合、
コープこうべ第3地区本部



カリブ海と大西洋に面する南米ベネズエラは、豊かな自然と資源に恵まれた国。これまで多くの難民を受け入れてきましたが、現在ユニセフの人道支援活動を受け入れる危機的な状況にあります。日本に暮らすネルソンさんが、現地の子どものたちが置かれている実情を伝えます。

2025 ユニセフセミナー③ 子どもの権利と地域社会 ～尼崎市の事例から～

日時 7月19日(土) 13:30 ~ 15:00

会場 神戸市教育会館

講師 能島裕介さん
(尼崎市こども政策
監・尼崎市学びと育
ち研究所副所長)

定員 80 人

後援 神戸市教育委員会、神戸市教職員組合、コープこうべ第3地区本部



すべての子どもがのびのびと自分らしく安心して成長できるように「子どもの権利条約」を知るユニセフセミナーの第3回。「こどものための権利擁護委員会」を設置するなど、子どもの声をまちづくりに活かしている尼崎市の取り組みを伝えます。

共同主催イベント 国際平和デー 2025 玉津「アフリカの日」

日時 9月20日(土) 11:00 ~ 16:00

会場 玉津のつどい場 たまろっと
(1階、4階ホール)

内容 ①パネルディスカッション：国際理解講座③「アフリカの話をしよう」ルワンダ：永遠瑠まりルイズさん(龍谷短大講師)、永遠瑠ルーシーさんブルキナファソ：ミロゴ・ベノワさん進行：杉山精一さん
②パフォーマンス：「アフリカ音楽を体感しよう」ミロゴ・ベノワさん
③アフリカマルシェ：アフリカ各地のコーヒー、紅茶、雑貨など
④ユニセフアフリカ写真展：「アフリカ各地の子どもたち」

毎年9月21日は国連総会で制定された「国際平和デー」。平和について考え、未来への願いを込めて、今年も開催します。アフリカは、長い間、貧困、飢餓、紛争が絶えない一方で、たくましく未来に向かって挑戦する若者たち、豊かな自然など、目で、耳で、アフリカの魅力を感じ平和について考えてみませんか。



※国際理解講座②③は、公益信託兵庫県婦人会館ユネスコ基金からの助成を受けて実施します。

参加申込みはホームページ上の
申込みフォームでも受け付けています。

お問い合わせ
TEL 078-435-1605



日本ユニセフ協会
賛助会員
募集

賛助会費の50%が
兵庫県ユニセフ協会の
運営・活動費となります。

賛助会費の50%が
兵庫県ユニセフ協会の
運営・活動費となります。

お問い合わせは
事務局までお願い
いたします。



ユニセフ
ひょうご
サポーター

賛助会員募集中
賛助会員となって、
兵庫県ユニセフ
協会の活動を支
えてください。お申
し込み、お問い合
わせは事務局まで
お願いいたします。

ユニセフひょうごサポーター
入会申込書

unicef

掲載内容の訂正とお詫び

「Wish」76号の掲載内容に下記のような誤りがありました。読者の皆様および関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

【訂正箇所】

7 ページ「パレスチナを知る写真展」

誤) スマートフォンで撮った

正) スマートフォンやフィルムカメラなどで撮った

7 ページ 2025 国際理解講座①「フェアトレードでつながる中東パレスチナ そこにある日常との出会い」

・右5行目

誤) 自宅に軍が入ってきた経験談

正) 自宅に軍が入ってきた現地の方の経験談

・右13行目

誤) 戦争

正) 侵攻

講師プロフィール

誤) 東パレスチナ

正) 中東パレスチナ

以上